分科会３（事業環境部会）

参加型事業PT

劇場法が示す『新しい広場』を全国の公立文化施設に作るには
～課題整理と先行事例の共有に向けて～

2025年6月13日

■発表要旨

- 事業環境部会では、都市圏だけでなく全国各地の中小ホールの事業活動の活性化を重視した公文協独自のプログラムの開発やサポート体制の構築を目指して、令和3年度から複数のプロジェクトチーム（PT）を立ち上げて研究活動を重ねてきました。
- 最初に活動を開始した『公演事業PT』では、文化庁補助金（アートキャラバン事業）を活用し、ファミリー向けプログラムとオーケストラプログラムのツアー公演を実践し、その連携の成果や課題を令和6年度の研究大会（岡山市）で報告しました。

- そして次の展開として、令和5年度から『参加型事業PT』がスタートしました。

- このPTでは、「劇場法（劇場、音楽堂等の活性化に関する法律）」で示された「新しい広場」としての活動を、中小ホールが大半を占める公文協加盟館が自主事業として実現させるには何が必要なのか、何から始めるのがいいのか、その実現を公文協として支援する方策はどうあるべきか、それらの観点から何度もPT会議を重ねて検討してきました。

○PTの活動履歴と今後

2023年

10/16　第16回公演事業PT会議

12/19　第1回PT会議

2024年

1/26　第2回PT会議

2/26　第3回PT会議

3/28　第4回PT会議

4/26　第5回PT会議

6/7　第6回PT会議

6/13-14　総会・研究大会@岡山

8/29　第7回PT会議

9/25　第8回PT会議

11/8　第9回PT会議

12/19　第10回PT会議

2025年

2/27　第11回PT会議

4/22　第12回PT会議

6/5　第13回PT会議

6/12-13　総会・研究大会
@愛知

7/27　まち元気EXPO 2025
@可児市文化創造センターala

10/12　みんなのディスコ（宝塚版）
@宝塚市立宝塚文化創造館

2025年度中に
・試行事業を実施
・レシピ試作

2026年6月　研究大会で
最終成果報告

○今回の活動報告について

- まず令和6年度は、勉強会としてPT参加館がそれぞれ各地で実践してきた参加型事業の事例の共有を行い、次にそれらの優良事例を公文協のサポートのもと、各地の中小ホールで展開していくことを想定した場合の検討を行いました。
- その議論を踏まえて、令和7年度は、実績のある参加型事業を、地域特性や周辺環境、施設の規模や立地条件、スタッフの経験値や人数、設置自治体の方向性などが異なる別の館に移転輸入するとどうなるのか、その試行プロセスをPTの研究活動として扱うことにしました。

- 具体的には、可児市文化創造センターalaの定番プログラム「みんなのディスコ」を、今年10月に宝塚文化創造館が宝塚市版「みんなのディスコ」として初実施します。
- その移転輸入の作業から、様々な課題や成果、思いも寄らない新しい人的交流など、多くの発見が生じるはずです。
- 今回の研究大会では、そのプロセスの真っ只中の両館の担当者からその実相が報告されます。

○「レシピ化」の取り組み

- さらに、PTでの勉強会の成果のもう1つのあり方として、各地で様々に工夫されて行われてきた優良事例を、公文協が束ねる実践的な知識の集積にするための方策として「レシピ化」の取り組みも行っています。
- 単なる報告集ではなく、まるで料理のレシピ本のように、器具、材料、手間、時間、工夫などを読み取りながら自分でもアレンジを加えてやってみたくなるような事例集を作れないか。その試作版も紹介します。

○映像事業PTの始動

- 最後に、3つ目のPTとして令和6年度から『映像事業PT』が活動を始めました。
- 新たに走り出した新PTの方向性を報告します。

○プログラム（120分）

- 発表要旨の説明
- つながりを作る劇場　可児市文化創造センター ala
- 宝塚文化創造館　みんなのディスコ（宝塚版）
- 「レシピ化」の取り組み
- クロストークと質疑応答
- 映像事業PTの始動

【登壇者】

- <u>コーディネータ</u>

  熊井 一記
  （公益財団法人神戸市民文化振興財団 事業部長）

- <u>パネリスト</u>

  澤村 潤
  （可児市文化創造センターala 創造事業課 プロデューサー）

  三戸 裕徳
  （宝塚文化創造館 館長）

つながりを作る劇場

可児市文化創造センター・ala
プロデューサー　澤村潤

可児市

人口約10万人

名古屋のベッドタウン

65歳以上が2.9％

外国籍は9.4％

alaまち元気プロジェクトPV2024

https://www.youtube.com/watch?v=KJk5OWwaU3c&t=98s

まち元気プロジェクト

＝【課題解決＋価値創造】＝【コレクティブインパクト】

【公共劇場×社会課題×共感のネットワーク】

みんなのディスコ

全ての違いの垣根を
越えて音楽、ダンスで
ココロつながる空間

大型市民参加事業

オーケストラで踊ろう！

コンテンポラリーダンスと
オーケストラのコラボ。
小学生から80代まで多様
な市民が舞台づくりで
つながり・絆を育む

多文化共生
プロジェクト

異なる文化や背景を
持つ人々が演劇・劇場
を通じてつながる

ココロとカラダWS
学校・不登校児童生徒
親子・高齢者

仲間づくりのコミュニ
ケーションWS

生きる活力とつながりの創出、孤独・孤立を防ぐ予防策として

まち元気プラットフォーム

コレクティブ・インパクトを起こすための

プラットフォーム

ファシリテーター

ワークショップの進行
参加者の共鳴・共振を促す

まち元気リンクワーカー

人と人、人と場や活動を
結びつける地域の世話人

インクルーシブ

まち元気そうだん室
ラウンドテーブル

社会機関との情報共有
地域の相談機能

クリエイティブ

私のあしながおじさん
プロジェクト

子どもへの取組みの
共感者・資金支援

1.共通のアジェンダ
生きる活力とつながりの創出
2.共有された評価・測定
ロジックモデル・プロジェクトレポート
3.相互に強化し合う取組
まち元気プロジェクト
4.継続的なコミュニケーション
まち元気ラウンドテーブル
5.取組を支える組織、人
まち元気リンクワーカー

まち元気部

中高生たちが地域の
様々な人と交流しながら初めての体験に挑戦

コミュニティ

みんなのディスコ

毎年の実施回数
1回

毎年の集客数
約100人

毎年の
ボランティア
約20人

イベント本番のスケジュール例

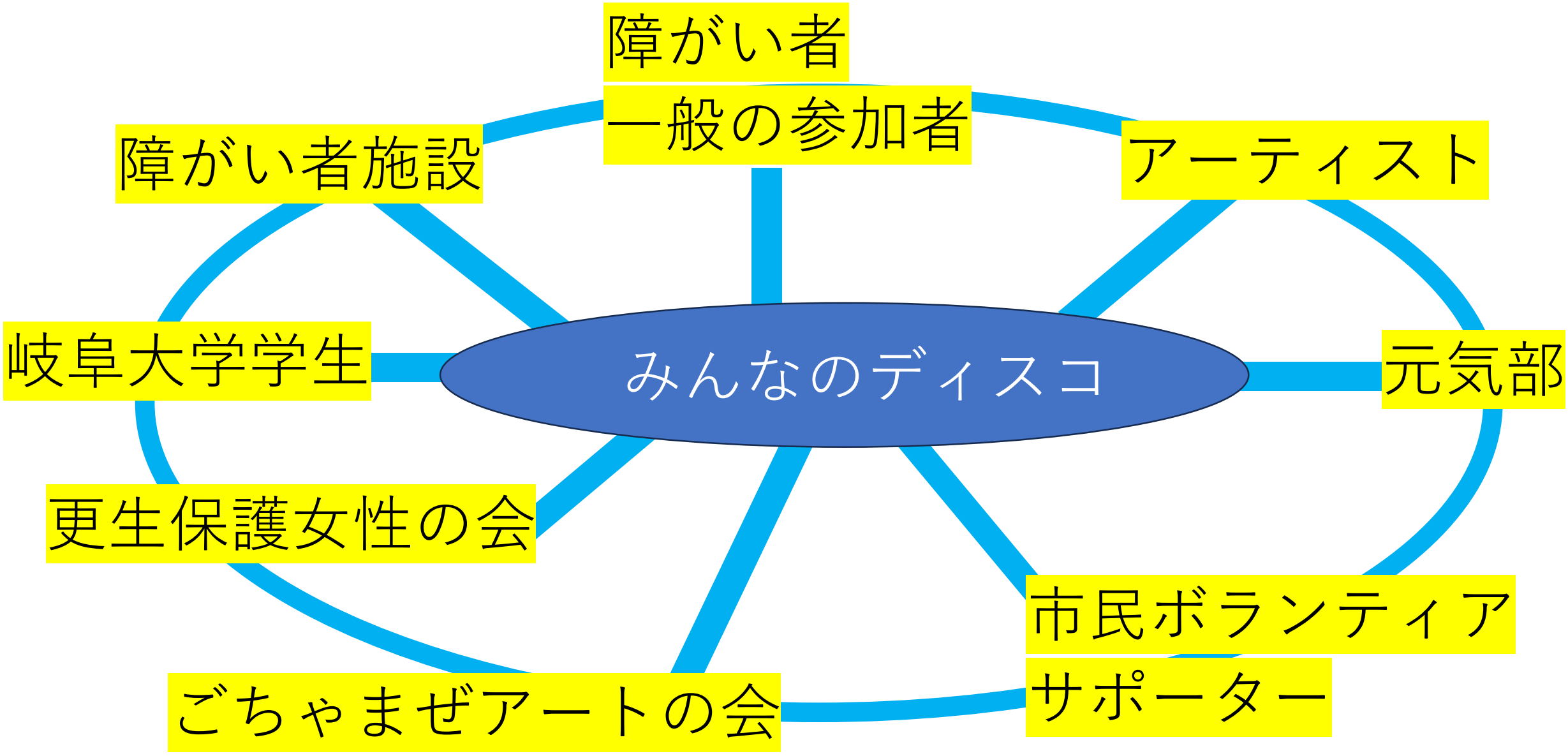
13:30　開場／DJタイム①
14:00　オープニングアクト／DJタイム②
14:30　ファッションショー／DJタイム③
15:10　ショータイム／DJタイム④
15:50　フィナーレ
16:00　終了

「みんなのディスコ」エピソード

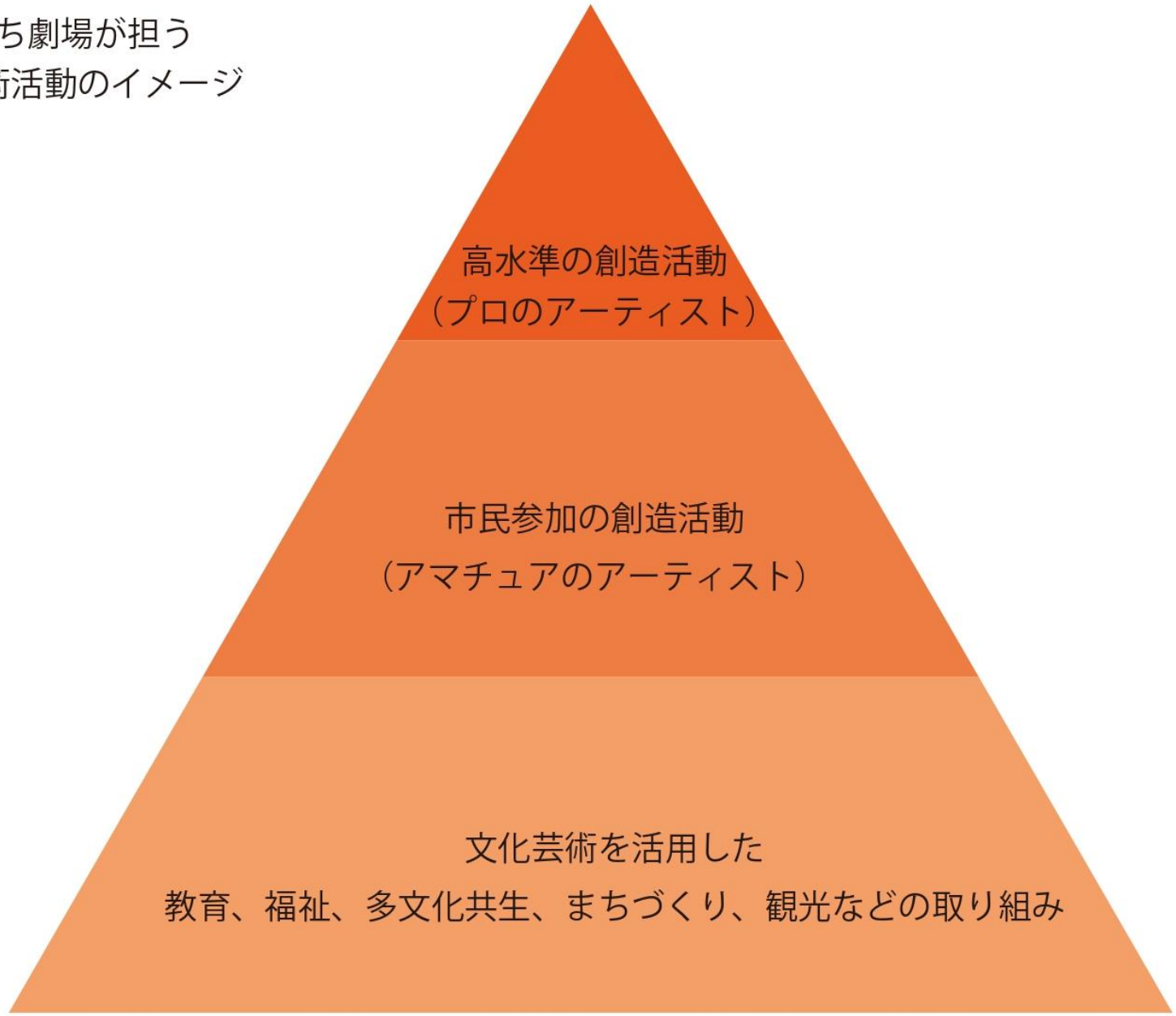
青木聡子さん（車椅子ユーザー）

関係者（共感者）

- 障がい者や一般の参加者（お客さん）
- アーティスト（出演者）
- 市民ボランティアサポーター（協力者）
- アーラまち元気部（協力者）
- 岐阜大学学生（協力者）
- 福祉関係機関（障がい者支援施設）（協力者）
- 更生保護女性の会（協力団体）
- ごちゃまぜアートの会（協力団体）
- 可児市文化創造センター（主催）


障がい者
一般の参加者
障がい者施設
アーティスト
岐阜大学学生
みんなのディスコ
元気部
更生保護女性の会
市民ボランティア
サポーター
ごちゃまぜアートの会

私たち劇場が担う
文化芸術活動のイメージ



生きる力が湧き上がる、つながりの祭典
「まち元気EXPO 2025」開催!

生きる活力・人とのつながり　文化芸術を社会に活かす

文化芸術の力で、心がふっと軽くなるような出会いや対話が生まれるワークショップ見本市。孤立や生きづらさを感じる時代だからこそ、人と人が出会い、共に創る体験が未来をひらきます。アートを通じて新たな“つながり方”に触れ、自分も周りも元気になれる1日。子どもから大人まで、どなたでも大歓迎。あなたも“まち”の元気に参加しませんか?

アーラでは2008年度から「アーラまち元気プロジェクト」を実施してきました。これは、文化芸術を活用し、「生きる活力」と「人とのつながり」を生み出す、30プログラムほどの社会包摂事業の総称です。今回のまち元気EXPOは、これまでの出会いや活動を、より広く皆さんに知っていただくために1日に集約して実施します。これまでの取り組みについては、こちらをご覧ください。

https://kpac.or.jp/machigenki/

プレイベント 7/26(土) タイムテーブル

事前予約制・優先
参加自由

	主劇場	ギャラリー		映像シアター	レセプションホール	中央ロビー
9:00		2 いろんなみんなのアート展 9:00-17:00				7 私の一枚 9:00-22:00
10:00			3 白鳥さん鑑賞会 10:00-12:00			
11:00						
12:00					6 新井英夫WS 13:00-14:30	コンシェルジュ 12:00-17:00
13:00				5 映画上映会 13:30-15:17		
14:00						
15:00	1 忍者WSレク見学 15:00-17:00		4 白鳥さん鑑賞会 15:30-17:30			
16:00						
17:00						
18:00						

主劇場 1
忍者ワークショップ レクチャー見学ほか

7/26(土)
15:00-17:00
定員 10名
無料 事前予約制

27日の「まち元気EXPO」に向けての様子を見学します。忍者ワークショップのレクチャーの様子や、他の企画のリハーサルの様子を見学します。

ギャラリー 2
いろんなみんなのアート展

「エネルギー・パレット」 ひしだ みわ

7/26(土)
9:00-17:00
無料
※24～28日開催

地元の障がい者作家による、ユニークで個性豊かなアートが大集合!
※右記の鑑賞する会の時間帯は入場制限の場合あり

ギャラリー 3 4
白鳥建二さんと「いろんなみんなのアート展」を鑑賞する会

Photo by Ryuichiro suzuki

7/26(土)
1 10:00-12:00
2 15:30-17:30
定員 5名
無料 事前予約制

映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」鑑賞者が対象となります。

映像シアター 5
映画上映「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」

7/26(土) 13:30-15:17
定員 98名 無料 事前予約優先

白鳥さんの美術館との出会いからアートの鑑賞方法など紹介されているドキュメンタリー映画。

レセプションホール 6
新井英夫「ほぐす・つながる・つくる ～ダンスとケアの出会い直し～」

写真:渡邉肇

7/26(土)
13:00-14:30
定員 30名
無料 事前予約制

高齢や障がいや病気などで元気に活動しにくい…そんな人たちとも無理なく「言葉でない身体表現」でコミニケーションを楽しむには?体験&お話で紹介します。

中央ロビー 7
まち元気リンクワーカー企画
1 まち元気EXPOコンシェルジュ
2 写真展示「私の一枚」

7/26(土)
1 12:00-17:00
2 9:00-22:00

アーラまち元気リンクワーカーのメンバーがまち元気EXPOの企画紹介などいたします。あなたにオススメな活動がみつかるかも!?写真展示「私の一枚」(7/24 - 28)も開催。

6/21事前WSあり
携帯の中の沢山の写真の中から1枚選ぶとしたら? WS参加者のそれぞれの思いの写真を展示します。

生きる力が湧き上がる
つながりの祭典

まち元気EXPO 2025

入場無料
※一部有料

アートワークショップ見本市

2025.7.27(日) 9:00～17:00
〈7.26もプレイベントあり〉

可児市文化創造センター ala 全館
岐阜県可児市下恵土3433-139

予約・詳細
予約開始 5.31(土) 9:00～
※一部、事前予約制・優先プログラム、有料プログラム有り
可児市文化創造センターala インフォメーション
Tel.0574-60-3050
9:00~19:00　火曜休館 祝日の場合は閉館・翌平日休み
kpaciala　kaniala_0727　@kani_ala

ネット予約はこちら
WEB ページ

お問い合わせ
可児市文化創造センター－ala
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
TEL.0574-60-3311　9:00~22:30｜火曜休館/祝日の場合は閉館・翌平日休み
https://kpac.or.jp
alamachigenki@gmail.com
アーラ 検索

主催：(公財)可児市文化芸術振興財団　協力：まち元気リンクワーカー

文化庁
文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
KANI PUBLIC ARTS CENTER ala

主劇場 1 アフタフ・バーバン 忍者ワークショップ「忍者黒マント団参上!」

7/27(日)
10:00–12:00
定員 30名 小学生対象
有料 500円 当日会場にて精算
※10:30まで見学有り(無料)

風呂敷一枚で忍者に変身!気持ちが動くことが修行のはじまり!なれる力、かわる力は己の中にあり!小学生対象のワークショップですが冒頭30分を見学することができます。

演劇ロフト 6 7 多文化共生プロジェクト「RE:HOME」

7/27(日)
1 10:00–11:20
2 13:00–14:20
定員 各80名
無料 事前予約優先・整理券有り

舞台公演づくりを通じて外国籍市民が地域社会に溶け込み、豊かな人間関係とコミュニティ形成を目指す取り組み。昨年度の公演を創りなおしてお届けします。

小劇場 2 座談会「まちが元気になる処方箋」

7/27(日)13:00–14:20
定員 200名
無料 アーカイブ配信あり
日比野 克彦 (岐阜県美術館長/東京藝術大学長)
西 智弘 (川崎市立井田病院医師/一般社団法人プラスケア代表理事)
森 合音 (国際こどもとおとなの医療センターホスピタルアートディレクター)

文化的処方や、社会的処方のオピニオンリーダー、医療機関でのホスピタルアートの実践者をお招きして、文化芸術によるつながりの形成の意義について語り合う座談会。

美術ロフト 8 ala国際演劇サマースクール 発表会「My Light」

7/27(日)
14:00–15:00
定員 30名
無料 事前予約優先・整理券有り
講師 エイミー・リーチ

英国のリーズプレイハウスから副芸術監督 エイミー・リーチ氏を招いて行う青年向け連続 WS。「デバイジング」の手法で光をテーマに創作された小作品 の発表と、その解説トーク。青年たちが見つめる光とは。

小劇場 3 みんなのディスコ

7/27(日)
15:00–17:00
定員 300名
無料
※入場制限の場合あり

障がい・国籍・年齢・性別・全ての違いを受け入れて、様々な人が 音楽で繋がるダンス広場。今年のテーマは「サーカス」。EXPOの最後、みんなで楽しみましょう!ホワイエでフェイスペイント・仮装グッズでオシャレに大変身!

映像シアター 9 10 11 映画「夢みる校長先生」上映会

7/27(日)
1 9:30–11:00 2 13:20–14:50
定員 各98名 事前予約優先
有料 500円当日会場にて精算
※11:15-13:10 松岡猛先生トーク・意見交換会 無料(事前予約優先)

6人のユニークな夢みる校長が「子どもファーストな学校改革」を大公開。「子どもファーストな公立学校の作り方」その具体例が満載のドキュメンタリー映画です。 主催:むすびば

音楽ロフト 4 TASCぎふ・ごちゃまぜアートの会 オープンアトリエ

7/27(日)
10:00–12:00
定員 50名
無料 事前予約優先

TASCぎふ・ごちゃまぜアートの会による、誰もが自由に参加して創作ができるアトリエがアーラにオープン。想像力を広げて、自由に楽しく好きな絵を描いてみましょう!

レセプションホール 12 「あかちゃん親子のアーラであそぼ♪」見学

7/27(日)
9:30–10:30
定員 15名
無料 事前予約優先
講師 Ten seeds

0才〜2才未満のあかちゃんと保護者のWS。親子でのびのびワクワク手遊び、絵本や身近なものを使って一緒に遊ぶワークショップの様子を見学できます。

ギャラリー 14 いろんなみんなのアート展

「エネルギー・パレット」 ひしだ みわ

7/27(日)
9:00–17:00
無料
※24〜28日開催

地元の障がい者作家による、ユニークで個性豊かなアートが大集合!常識を超えた発想とエネルギーに満ちた作品が、アートの概念を広げ、不思議で魅力的な世界へとあなたを誘います。

主劇場ホワイエ 16 19 市民パフォーマンス
1 渋さ市民音楽組 演奏
2 アーラ紙芝居一座 紙芝居

7/27(日)
1 10:00–10:20
2 13:00–13:30
無料

アーラの事業から生まれたグループや、アーラで活動している市民団体のパフォーマンスを行います。上記以外のパフォーマンスもあるかも!?

主劇場ホワイエ 18 チョキチョキアート!切り絵で広がる世界

7/27(日)
11:15–12:15
定員 20名
無料 先着順

切り絵作家直井恵による、偶然性から生まれた色の世界。“描く”とは少し違う切って貼ることから生まれる自由の形の数々。紙の世界で遊んでみませんか。

主劇場ホワイエ 22 ポスター展示

7/27(日)
10:00–17:00
無料

アートによる社会包摂の取組を紹介するポスター展示を行います。取組を紹介してくれている関係者も会場に来ているかも!?

音楽ロフト 5 ごちゃまぜアートの会「もう一人の自分に大変身!」

7/27(日)
13:00–15:00
定員 50名
無料 事前予約優先

仮面とマントを作ってなりたい「もう一人の自分」に大変身!最後はみんなで見せ合って、みんな違うからこそ素敵な“ごちゃまぜファッションショー”を楽しもう!

レセプションホール 13 「ココロとカラダの健康ひろば」見学

7/27(日)
11:00–12:00
定員 15名
無料 事前予約優先
講師 Ten seeds

60才以上向けのワークショップ。思わずココロとカラダが動き出すコミュニケーション・ゲームを通して笑い合い、輪が広がるWSの様子を見学できます。

主劇場ホワイエ 15 朝のリズムアップ!みんなでハッピー体操

7/27(日)
9:15–9:45
定員 30名
無料 見学自由

「簡単」「健康」「可見」の頭文字を取った、可児市の介護予防体操の「K体操」など、日頃できる簡単な体操をみんなで行ないます。

主劇場ホワイエ 17 20 お産さんさん音頭

7/27(日)
1 10:30–11:15
2 14:00–14:45
定員 各50名
無料 先着順

お産のことをみんなで考えたい、佐治愛さんのその想いから生まれたお産さんさん音頭をみんなで踊りましょう。

主劇場ホワイエ 21 朝市とカフェのごきげん日和

7/27(日)
9:00–11:00
無料

地元の農家さんが採れたての夏野菜、多肉植物の寄せ植えを販売します。さらにじゃばんサンドイッチのモーニング、美味しいコーヒーで楽しい一日を始めましょう。

中央ロビー 23 まち元気リンクワーカー企画
1 まち元気EXPOコンシェルジュ
2 写真展示「私の一枚」

7/27(日)
1 9:00–17:00
2 9:00–22:00

アーラまち元気リンクワーカーのメンバーがまち元気EXPOの企画紹介などいたします。あなたにオススメな活動がみつかるかも!?写真展示「私の一枚」(7/24 - 28)も開催。

6/21事前WSあり

携帯の中の沢山の写真の中から1枚選ぶとしたら?WS参加者のそれぞれの思いの写真を展示します。

7/27(日) タイムテーブル

※WS:ワークショップ

- 事前予約制・優先
- 事前予約優先・整理券有り ※整理券はインフォメーションにて配布
- 参加自由(一部先着順)

	主劇場	小劇場	音楽ロフト	演劇ロフト	美術ロフト	映像シアター	レセプションホール	ギャラリー	主劇場ホワイエ			中央ロビー
9:00								14 いろんなみんなのアート展 9:00-17:00		21 朝市・カフェ 9:00-11:00		23 コンシェルジュ・私の一枚 9:00-17:00 (「私の一枚」は22:00まで)
9:30						9 映画上映「夢見る校長先生」 9:30-11:00	12 あかちゃん親子のアーラであそぼ♪見学 9:30-10:30					
10:00	1 アフタフバーバン忍者WS・見学 10:00-12:00 ※見学10:30まで		4 オープンアトリエ 10:00-12:00	6 多文化共生プロジェクトRE:HOME 10:00-11:20					15 ハッピー体操 9:15-9:45			
10:30									16 渋さ市民音楽組 10:00-10:20			
11:00						10 ゲストトーク 11:15-13:10	13 ココロとカラダの健康ひろば見学 11:00-12:00		お産さんさん音頭 10:30-11:15			
11:30									17 18 切り絵 11:15-12:15			
12:00										昼食会場 12:00-13:00		
12:30												
13:00		2 座談会「まちが元気になる処方箋」 13:00-14:20	5 ごちゃまぜアートWS 13:00-15:00	7 多文化共生プロジェクトRE:HOME 13:00-14:20		11 映画上映「夢見る校長先生」 13:20-14:50			19 紙芝居一座 13:00-13:30		22 ポスター展示 10:00-17:00	
14:00					8 ala国際演劇サマースクール 14:00-15:00				20 お産さんさん音頭 14:00-14:45			
14:30												
15:00		3 みんなのディスコ 15:00-17:00										
15:30												
16:00												
16:30												
17:00												

まち元気EXPO
https://kpac.or.jp/event/machigenkiexpo2025/

劇場法が示す『新しい広場』を全国の公立文化施設に作るには

～課題整理と先行事例の共有に向けて～

事例報告 2

宝塚文化創造館の
事例報告

これからの進行について

- 宝塚文化創造館について
- 実施事業について
- みんなのディスコ（宝塚版）の概要

宝塚文化創造館について

宝塚文化創造館について

宝塚文化創造館について

Map-It マップイット | 地図素材サイト

宝塚市

兵庫県にある　約２２.6　万人都市

宝塚大劇場

宝塚市立
手塚治虫記念館

宝塚文化創造館について

公益財団法人 宝塚市文化財団
TAKARAZUKA FOUNDATION FOR CULTURE PROMOTION

平成６年（1994年）に宝塚市によって設立された公益法人

宝塚ベガ・ホール
昭和55年（1980年）開館

宝塚ソリオホール
平成5年（1993年）開館

宝塚文化創造館
平成23年（2011年）開館

宝塚市立文化芸術センター
令和2年（2020年）開館

いずれも小ホール

アートセンター

約１６０事業を展開予定

宝塚文化創造館について

昭和10年（1935年）建造。（モダニズム様式）
当初は寶塚公會堂として作られ、

平成10年（1998年）3月まで
宝塚音楽学校の本校舎として使われていました。

現在は、宝塚文化創造館なり
近代化産業遺産に認定されています。

創設者・小林一三が唱えた
「清く正しく美しく」の理念のもと、建物の内部には
当時の面影が残っています。

名誉館長　岡田敬二（宝塚歌劇団 演出家）

宝塚文化創造館
平成23年（2011年）7月15日にグランドオープン

宝塚歌劇団の前身・宝塚唱歌隊が大正2年（1913年）7月15日に発足したことに合わせて

宝塚文化創造館について

3F レッスンルーム
日舞教室・バレエ教室

… 宝塚音楽学校の校舎であった当時のまま管理しており、貸スタジオとして運営しています。

2F すみれミュージアム

… 宝塚音楽学校と宝塚歌劇の歴史がここに！
宝塚音楽学校の卒業写真、歴代公演ポスター、舞台衣装などを展示と上映を行っています。

1F 講堂（文化交流ホール）

… 客席数　102～150席
嘗て、入学式や卒業式が行われていた講堂を改修して、様々なイベントを実施しています。

実施事業について

実施事業について

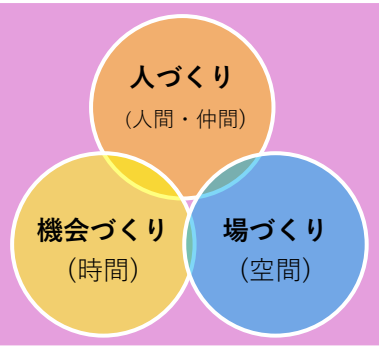
第６次 宝塚市総合計画

「創造力を育む文化芸術の薫り高い 宝塚」という10年後の姿を掲げ、
文化芸術振興基本法の理念を踏まえた**「宝塚市文化芸術振興基本計画」**

７つの方向性
- 創る
- つながる
- ともに楽しむ
- 守り伝える
- ともに発信する
- 支える
- 発展させる

宝塚市文化財団

「人づくり」「機会づくり」「場づくり」という**3つの“間”づくり**を大切にしながら、
「第3次中期振興ビジョン（2022年～2027年）」に基づき、
地域とともに文化を育む事業を展開。



宝塚文化創造館

宝塚音楽学校旧校舎という歴史的建造物を活用し、宝塚歌劇が生み出した舞台芸術文化を礎に、
新たな文化活動の振興と交流の場づくりを目的とする。

実施事業について

「歌劇の学び舎」として、
宝塚音楽学校や宝塚歌劇にまつわる歴史・文化を紹介し、
「宝塚文化の創造」を発信している事業について

実施事業について

タカラヅカ・ノスタルジックコンサート

タカラヅカ・ノスタルジックコンサートは、平成24年（2014年）8月に第1回を開催。シリーズは25回を数える人気企画。宝塚歌劇団OGたちが出演し、宝塚の歴史に刻まれた**名曲の数々を蘇らせ歌い継ぐ**、特別なコンサート。

宝塚歌劇の有名曲だけでなく、今ではあまり歌われることのなくなった“隠れた名曲”を掘り起こし、次の世代へと歌い継いでいくことを大切に宝塚歌劇で生まれた珠玉の楽曲たちが、OGたちの歌声によって新たな命を吹き込まれ、観客の心に深く響きます。

また、出演者たちが**「現役時代には他組の作品で歌うことが叶わなかった、憧れの楽曲」に挑戦できる**のも、このコンサートならではの魅力。かつての夢を叶えるように、心を込めて歌い上げる姿は、宝塚ファンにとっても感動的な瞬間です。

さらに、会場はかつて彼女たちが青春を過ごした“宝塚音楽学校の旧校舎”。懐かしい空間で繰り広げられるステージは、まるで時間が巻き戻されたかのような感覚を呼び起こします。

ステージの合間には、当時の思い出や裏話、舞台裏のエピソードなど、ここでしか聞けないトークも満載。出演者と観客が一体となって、宝塚の“あの頃”を共有できる、心温まるひとときです。

今年度は、番外編として大劇場デビューから50年を迎える61期生のみのスペシャルコンサートを開催。

「歌劇の学び舎」として、宝塚音楽学校や宝塚歌劇にまつわる歴史・文化を紹介し、「宝塚文化の創造」を発信

実施事業について

すみれ♪ミュージアムと企画展

すみれミュージアムの**常設部分**では、宝塚音楽学校の予科・本科での2年間を追った写真や、実際に授業で使用された教材を展示。4台のモニターでは、**普段見ることのできない授業風景**や課外活動の様子を映像で紹介しています。
昭和34年卒業の45期から111期までの卒業写真や大正13年（1924年）の旧宝塚大劇場のこけら落としから現在に至るまでの、約890点に及ぶ歴代ポスターを一挙に展示。**宝塚歌劇の1世紀を越える歩み**を視覚的にたどることができます。

企画展では、**宝塚の街が宝塚歌劇と共に発展してきた歴史**をたどるものや華やかな舞台を支える**スタッフワークにも焦点**を当て、演出・照明・衣装・音響などの工夫や努力を紹介したものなど、様々な角度から宝塚音楽学校や宝塚歌劇の魅力をご紹介しています。

宝塚文化創造館が周辺にある手塚治虫記念館や宝塚歌劇の殿堂（宝塚大劇場内）と連携し**共通券の発行**などを手掛けており、周辺ホールとホテルと連携をし、地域、文化、観光と人々をつなぐ役割を果たしています。

「歌劇の学び舎」として、宝塚音楽学校や宝塚歌劇にまつわる歴史・文化を紹介し、「宝塚文化の創造」を発信

実施事業について

～懐かしの活弁ライブ～
活弁映画へようこそ！

平成26年（2014年）から続くシリーズ企画。

かつて**宝塚は**、映画撮影所があり「**映画の街**」として有名でした。
その撮影所は、現在の宝塚文化創造館に隣接している場所でした。
その歴史と文化を今に伝え、無声映画に語りと音楽を添える日本独自の芸能「活動写真弁士」を体感できる特別イベント「活弁映画にようこそ！」を毎年開催しています。

この企画は、**関西で唯一の現役 活動写真弁士**として知られた故・**井上陽一**さんと、映画監督の故・鵜久森典妙さんの協力によってスタートしました。

そして、令和3年（2021年）に井上さんが他界されました（生前最後の舞台も、宝塚文化創造館でした。）が、井上さんの**唯一の弟子である大森くみこ**さんがその志を受け継ぎ、ピアノの生演奏を取り入れての公演など新しい挑戦も行い、現在もこのイベントは人気を博しています。

実施事業について

宝塚歌劇メイクワークショップ

チラシデザインを考える

殺陣入門

宝塚文化創造館のワークショップ

宝塚文化創造館では、舞台芸術の魅力を深く体験できる多彩なワークショップを毎年選りすぐって開催しています。
最大の特徴は、講師やアーティストと劇場がともにどのような体験会にするかを**ゼロから創り上げる“共創型”のプログラム**であること。そして、伝統と技術を持つ**プロフェッショナルが直接指導**する、他にはない貴重な学びの場であることです。また参加者がただ学ぶだけでなく、講師と一緒に考え、創り、表現するプロセスを大切にしています。

●「宝塚歌劇メイクアップ体験」では元タカラジェンヌが講師を務め、宝塚歌劇のメイクを体験。メイク後はスターになりきってホールで撮影も行います。

●「チラシデザインを考える」では、**チラシは人と人を繋げるコミュニケーション**の一つと考え、デザイナーでありダンサーでもある宝塚市出身の升田学さんを講師に、体を動かしてのコミュニケーションから始まり、チラシをデザインするまでを行うワークショップです。

●「殺陣入門」では、映画『ラストサムライ』出演のリー村山さんや、時代劇で活躍する巴里絵さんが講師を務め、礼儀作法や刀の歴史や刀の扱い方や立ち回りを学び、殺陣を体験します。

この他、不定期に宝塚歌劇スタッフが直接指導する「小道具入門～宝塚歌劇の仮面を創ろう」「大道具入門」や「舞台監督のお仕事」「舞台音響入門」「舞台照明入門」「落語体験会」（講師：地元落語家・笑福亭呂鶴）
「津軽三味線体験会」（地元民謡歌手・翔田ひかり）「DANCE³」（1日で日本舞踊・フラメンコ・ヒップホップを学ぶWS）を開催しています。

実施事業について

コミュニケーション授業ＷＳ

令和4年（2022年）から夏休み期間に実施。

学校教員や演劇関係者がコミュニケーション授業を学校で実施できるように、助成申請やWS講師の育成を目的に開催。

また令和5年（2023年）から**デモンストレーション授業**も実施し、文化創造館からの呼びかけで市内の小学生に参加してもらい、より実践的なワークショップを展開している。

●大阪府下の小学校長が参加ののち、申請して次年度10回の講座を実施。
●全日ピアノ演奏でアシスタント務めた寺田ちはるさんが本講座に参加後に、ご縁のある学校に紹介し大阪市内の小学校が1校採択されました。
主催：日本児童・青少年演劇劇団協同組合
共催：公益財団法人 宝塚市文化財団

実施事業について

みんなでイベント体験　イベントを創ろう！

元気な長寿の仲間たち展

宝塚ぼうさい劇場
～地域と劇場が創造する防災訓練のかたち～

実施事業について

座学：企画書について

忍者体験WS準備　設営体験

忍者体験WS準備　壁紙作成

忍者体験WS準備　進行確認

みんなでイベント体験　イベントを創ろう！

『みんなでイベント体験 イベントを創ろう！』は、今年で10年目を迎える宝塚文化創造館の代表的な参加型プログラムです。
このイベントは、地域の皆さまが「**観る側**」**から**「**創る側**」へと一歩踏み出し、文化芸術の担い手となることを目的にスタートしました。

参加者は、**企画書の作成から、アイデアの出し方、イベント準備、当日の運営まで、イベントのプロセスを体験**します。

実際に宝塚文化創造館で開催している『殺陣入門』『忍者体験』『歌劇メイク』『長寿展』『宝塚ぼうさい劇場』など、実際のイベントの準備や運営に参加しながら、講師やアーティスト、スタッフのサポートを受け、世代を超えたチームで一つ一つのイベントを創り上げていきます。
その過程は、宝塚市の文化芸術振興の理念・方向性である「創る」「つながる」「ともにたのしむ」を体現するものです。

参加者は、地元を盛り上げたい！イベント開催のノウハウを学びたいやPTA活動に活かしたい、舞台の仕事がしたい、ボランティア活動に活かしたいなど、多くの「**やってみたい！**」**という想い**が、ワークを終えた後、**街のいろいろな場所で形**になってきました。

各地域でのイベント開催、自治会での歌声サロンの開設、舞台人として就職、紙芝居全国大会の開催など、10年の歩みの中で、地域の絆が深まり、新たな才能が芽吹き、文化が育まれてきたことは、私たちの誇りです。　今回、**みんなのディスコ**に挑戦します。

実施事業について

忍者体験WS「忍び」の説明

忍者体験WS 「手裏剣投げ」

忍者体験WS 「体さばき」

忍者体験WS 「吹き矢体験」

みんなでイベント体験　イベントを創ろう！

イベント実習事例（忍者体験ワークショップの場合）

目的：イベントの企画から運営までを実践的に学ぶ。
実習内容：
(企画理解)　事前に企画書を確認し、**イベントの全体像を把握。**
(仕込み体験)舞台図面をもとに、実際の**会場設営を体験。**
(演出制作)・「怖い声」の録音による音響演出（舞台音響）
　　・ペンキを使った壁紙制作（舞台美術）
(運営体験)スタッフは忍者となって参加者を応援しながら、受付や安全管理などを実践。

＜忍者体験ワークショップ 概要＞
目的：参加者が忍者体験を通じて舞台芸術や日本文化（礼儀作法・所作など）にふれ、**家族の絆**を深めることを目指す。特に、**大人（父親・母親）が「格好良く」「頼もしく」見える**演出を取り入れ、夏休みの**家族での思い出作り**を促進する。

～ワークショップの流れ～
導入（３階 日舞教室・バレエ教室使用）
- 正座やお辞儀など、忍者の首領に会うための礼儀作法を学ぶ。
- 忍者修行のデモンストレーションを見学。

物語の展開
- 妖怪復活の知らせが入り、参加者は忍び足で急遽ホールへ移動。

試練（１階ホール使用）
- ホールは、妖怪屋敷のような空間で、合言葉・体さばき・手裏剣投げなどの修行・試練に挑戦。
- 最後に全員で吹き矢を使い、妖怪を封印。

実施事業について

キャプションとコメント展示
過去の例「定年後に公民館の絵画教室に入り、20年が経ちました。やっと見てもらえる絵が描けたと思います」

表彰状と鑑賞者からの自分宛てのメッセージ集

元気な長寿の仲間たち展

今年で13回目を迎える『元気な長寿の仲間たち展』は、宝塚文化創造館が地域の高齢者とともに歩んできた、温かく力強いアート展です。

この展覧会は、宝塚市展に出展された**80歳・90歳を超えてなお創作活動に励む皆さま**の絵画や写真を紹介するもので、年齢を重ねてもなお輝き続ける「**表現する力**」と「**生きる喜び**」を広く発信しています。

公募展ではなく、あくまで宝塚市展にエントリーされた方で80歳以上の方に呼びかけた展覧会となっており、作品に込めた想いをコメントにして展示したり、また出展者への応援メッセージが送られるような仕掛けがあり、出展された方の長寿を祝う表彰式があったりと、出展された方、鑑賞された方がともに元気になる展覧会になっております。

出品者の集い

岡田敬二名誉館長から表彰状授与

実施事業について

元気な長寿の仲間たち展

準備には、イベントを創ろう！の参加者や、地域若者サポートステーションと連携し、働くことや自立について**悩みを抱える若者**が就労に向けたステップの一つとして、準備に従事してもらっています。

特に**搬入日**や**展示日は楽しく**て、長寿の**出展者さんに直接お話**も聞けますし、展示レイアウト日は、市内在住の**美術家・写真家の先生に、展示やレイアウトのコツを**直接聞きながら作業できるので、世代を超えたつながりを生み出す場にもなっています。

市内在住の美術家・絵本作家の中辻悦子先生が展示位置を参加者と考えている様子

実施事業について

避難訓練コンサートのコンサート風景

避難訓練後の講評風景

消火訓練風景

オリジナル防災劇　猫神様の言うことニャー

防災ゲーム（持ち出しゲーム）

ＡＥＤ訓練

宝塚ぼうさい劇場
～地域と劇場が創造する防災訓練のかたち～

「第29回防災まちづくり大賞」（主催：総務省 消防庁）において、**消防庁長官賞**を受賞しました。
このイベントは、今年で12回目を迎える事業です。

地元の自治会と劇場が共催する防災イベントで、音楽や人形劇、クイズなどを通じて、**子どもから大人まで**楽しく防災を学べる構成と**コンサート本番中に火災が発生する**という実際の避難訓練をコンサートに組み込んだ「体験型防災教育」。
また地域住民、消防署、創造団体、ボランティア団体など多様な主体との協働による運営が特徴となっています。

施設の防災視点からのハード確認と、集客が難しい自治会の防災訓練をより参加しやすくし、地元アーティストの紹介や地域に必要なコミュニケーションの機会としての側面もあります。

毎年、地元の地域課題に着目してテーマを変えて単なる防災訓練にとどまらず、**文化芸術と防災教育を融合させた**ユニークな取り組みとして、特に、子どもたちが楽しみながら防災意識を高められるよう工夫されたプログラムが、**地域の防災力向上に大きく貢献しているとして評価**を受けております。

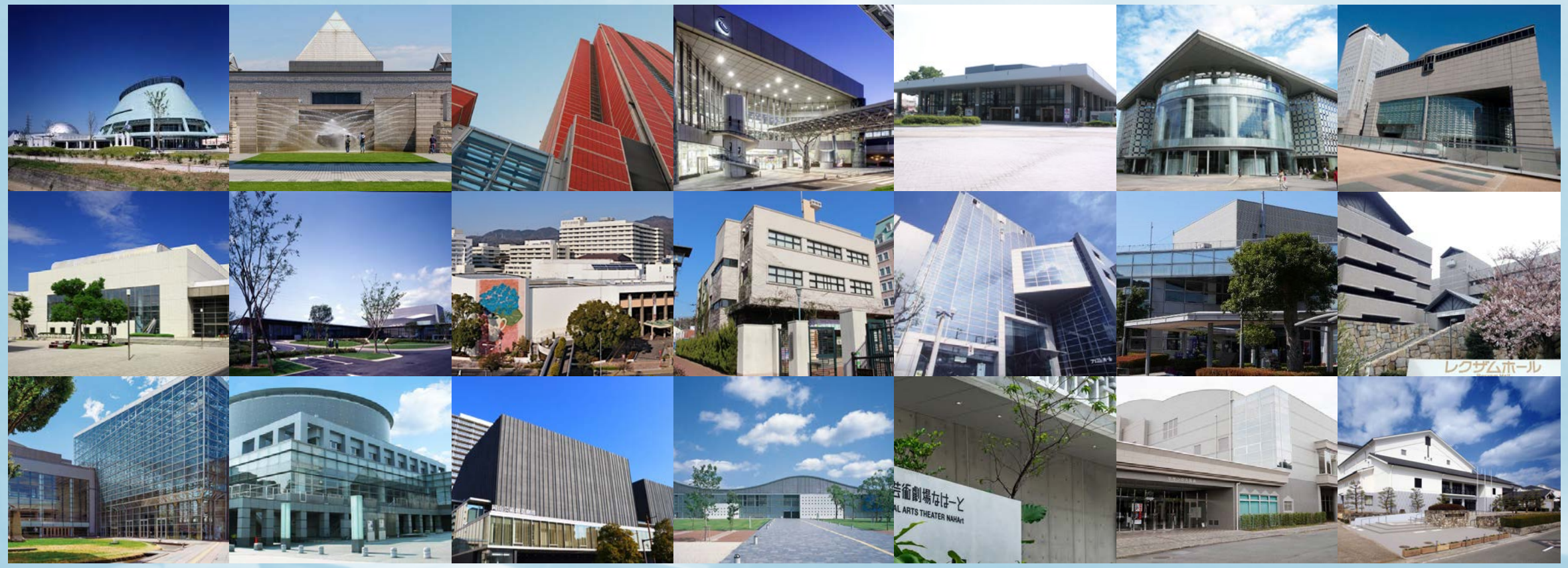
みんなのディスコ（宝塚版）の概要

- 中小零細ホールでもできるモデル事業

- 地域の課題に寄り添い
文化芸術を通じて
社会的な機能を果たしていく

なぜ「みんなのディスコ」だったのか？

- たくさんの事例を具体的に知る事が出来た



なぜ「みんなのディスコ」だったのか？

❶ 劇場のスペックに合わせることが出来ること。

当館は最大150席ほどの小ホールで、ロビーもありません。

「大は小を兼ねるが、小は大に成りえない」

――そんな制約の中でも、フラットにして、
ディスコなら演出を工夫すれば実現可能だと感じました。

なぜ「みんなのディスコ」だったのか？

❷ ワクワク感(期待感)があること。

ミラーボールが常設されている当館のホールで、
音楽と光に包まれながら、
誰もが自由に音楽を楽しみ、
身体を動かせる空間を想像したとき、

「これは楽しい場になる」と確信しました。

なぜ「みんなのディスコ」だったのか？

❸ 社会包摂の視点

障がいの有無、年齢、性別、国籍を問わず、
誰もが主役になれる場をつくること。

当館がこれまで大切にしてきた

「人づくり」「機会づくり」「場づくり」とも深くつながるもの。

宝塚版の企画立案について

1. alaの企画書のご提供いただく
2. 企画の整理（６Ｗ２Ｈ）
3. How（手法）連携体制の構築の詳細

2 企画の整理（６Ｗ２Ｈ）

Why（目的）	What（内容）	Who（出演者）	When（時期）
Where（場所）	Whom（対象）	How（手法）	How much（予算）

2 企画の整理（６Ｗ２Ｈ）

Why（目的）

地域の多様な人々がつながり、共に楽しむ場を創出すること

Where（場所）

宝塚文化創造館
＋
花のみち・さくら橋公園
宝塚市立文化芸術センターの一部

2 企画の整理（６Ｗ２Ｈ）

Why（目的）

地域の多様な人々がつながり、共に楽しむ場を創出すること

What（内容）

「みんなのディスコ」の開催

Who（出演者）

DJ・宝塚ゆかりのアーティストや団体

When（時期）

2025年10月12日

市内イベントと重複しない日程

Where（場所）

宝塚文化創造館
＋
花のみち・さくら橋公園
宝塚市立文化芸術センターの一部

Whom（対象）

市民全体

特に障碍のある方や高齢者、子どもたちも含めた全世代

How（手法）

地域団体との連携
障碍者対応研修の実施
参加型の運営体制
（イベントを創ろうとの連携）

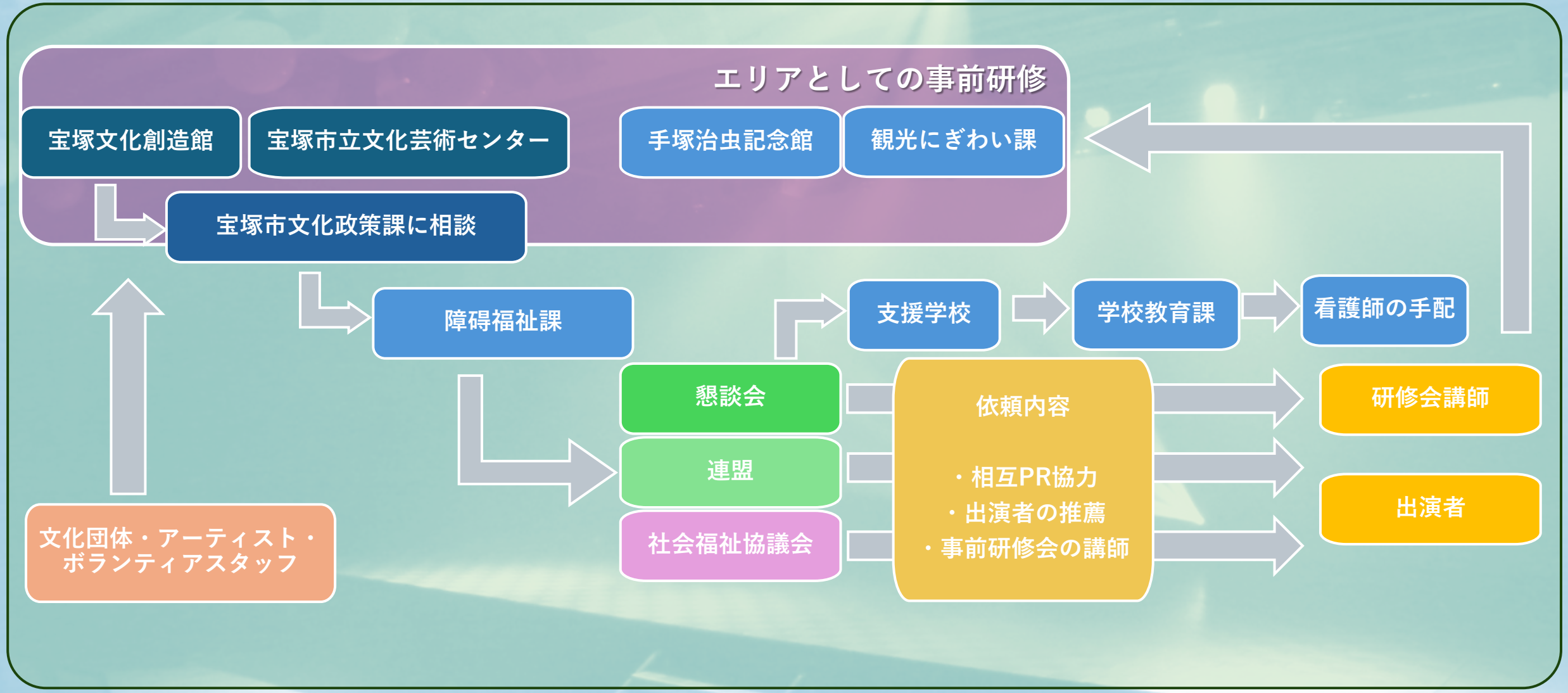
How much（予算）

イベントを創ろう！の予算を軸に
コンサート事業の予算の一部変更

宝塚版の企画立案について

1. alaの企画書のご提供いただく
2. 企画の整理（６Ｗ２Ｈ）
3. How（手法）連携体制の構築の詳細

3 How（手法）連携体制の構築の詳細



地域に合った形で展開することの大切さ
～可児市へのリスペクトを込めて～

「みんなのディスコ in TAKARAZUKA」を準備を進めるにあたり、
私たちが最も大切にしたのは、オリジナルへのリスペクトです。

長年、可児市文化創造センターalaでは、「地域の元気を出す」ことを明確に打ち出しながら、
地域とともに歩む事業を積み重ねてこられました。
「みんなのディスコ」これまでの積み重ねた環境によってアーラと地域の人々との間で
「生まれるべくして生まれたもの」と感じています。

劇場と地域がともに育てた、オリジナルとしてリスペクトすべき文化であり、
その精神を受け止めて、他地域でこの企画を展開する際には、
自分たちの地域の特色や環境に合わせて丁寧に再構築することが不可欠だと考えました。

つまり、「みんなのディスコ」は、地域の課題や人のつながり、文化的背景を踏まえたうえで、
その土地に根ざした形で“育てていく”ことが必要なのです。

地域に合った形で展開することの大切さ
～可児市へのリスペクトを込めて～

宝塚では、障碍のある方々との連携をはじめ、地域の団体や行政と協力しながら、
「誰もが安心して参加できる場づくり」を目指して準備を進めています。
また、出演者やスタッフの選定においても、地域の関係性や文化的な文脈を大切にしながら、
無理のない形で関係性を築いていくことを心がけています。

このように、オリジナルへの敬意を持ちながら、地域に合った形で丁寧に展開していくことこそが、
「みんなのディスコ」が持つ本質を継承し、広げていく鍵になると私たちは考えています。

現在は、出演者の推薦を受け、各団体と調整し、事前研修会（第1回　6月27日（金）に開催）の
準備を進めている段階です。さらに協力いただける団体にもアプローチしています。

そして、地域の若者や高齢者、子どもたちが一緒に楽しめるようなプログラムを構成し、
広報活動にも力を入れていきます。

おわりに

「みんなのディスコ」は、単なるイベントではないと感じました。
それは、文化芸術を通じて、地域の人々がつながり、支え合い、共に楽しみ、
一緒に育てていく「場」をつくること。

そして、小さな劇場でも、できることがある。
むしろ、小さな劇場だからこそ、顔の見える関係性の中で、深いつながりを生み出せるのだと思います。

この取り組みが、皆さまの館でも何かのヒントになれば幸いです。
ご清聴、ありがとうございました。

Coming Soon

みんなのディスコ in TAKARAZUKA

2025.10.12 sun　宝塚文化創造館

事業環境部会　参加型事業PT　レシピ

レシピ創作者：
献立（事業名）

（イメージ写真）

● 概要

● イベント本番のスケジュール例

1）器具・材料の準備：　企画立案　まずはイメージする
●［　　名］参加する場合

● 予算はどのくらいかかる？　→［万円］

● スタッフは何人くらい必要？
→［名程度］規模によって変動

● 出演者はどんな人がいるといい？

2）下ごしらえ：ここが肝！しっかり下準備をしよう
● 予算・スタッフを確保
● 日程や場所を決める
● テーマや企画内容、出演者を決める

● 企画実施までのスケジュールを組み立てる
［　月　実施の場合］
月（ヶ月前）：

3）調理＆味付け：完成に向けて具体的に進める、
余裕があれば味付けの工夫も
● 〇〇〇〇（味付けポイント）
どんなことをしてもらう？

● 広報　　どこに？　　媒体は？

● 協力団体に声掛け　　心がけること：

● 出演者への交渉　　心がけること：
● 各種打ち合わせ　　心がけること：
● 仕込みのための準備　　心がけること：
● 当日のタイムスケジュールを決定　　心がけること：

4）盛り付け：完成間近！
当日の注意点を確認しておきましょう。
● 開催前

● 当日

参考資料（WEBサイト、フライヤーなど）
市民サポーター募集のお知らせ
イベント参加者に向けたお知らせ

事業環境部会　参加型事業PT　レシピ

○○ワンダリング！ えずこホール	50歳からの芸磨き講座 可児市文化創造センター	あしながおじさんPJ 可児市文化創造センター	あそてん！ えずこホール	アフターアワーカフェ 山口情報芸術センター
えずこサンタPJ えずこホール	オープンハウス ０歳からのオーケストラ 香川県県民ホール	オープンハウス 愛知県芸術劇場	おでかけ！ あずなびあ！ えずこホール	サザンクススコーレ サザンクス筑後
サンカクトーク 山口情報芸術センター	まち元気リンクワーカー 養成講座 可児市文化創造センター	まち元気部 可児市文化創造センター	みんなのディスコ 可児市文化創造センター	みんなのピアノ 可児市文化創造センター
みんなの町のガリバー マップを作ろう 世田谷パブリックシアター	モヤモヤを話す、聞く 公益財団法人 かすがい市民文化財団	リズム＠プリズム 八尾市文化会館	久しぶりの人のための 吹奏楽講座 (公財)四日市市文化 まちづくり財団	宝塚ぼうさい劇場 宝塚市立宝塚文化創造館

舞台映像上映 Reライブシアター

共催：（一社）EPAD

2025/5/12現在

	劇場	事前検証日	上映時間・作品・料金	
1	レグザムホール （香川県県民ホール）	5/12（月）	10:30～：こまつ座「母と暮らせば」／有料1,000円 14:00～： 二兎社「ザ・空気　ver3 そして彼は去った」／無料	8月22(金)仕込・23（土）上映 小ホール
2	徳島県立二十一世紀館	5/14（水）	11:00～：東京芸術劇場「気づかいルーシー」（バリアフリー字幕希望）／無料 15:00～：ホリプロ「ムサシ」（バリアフリー字幕希望）／無料	9/13（土）仕込・14（日）上映 イベントホール
3	サザンクス筑後		11:00～：東京芸術劇場「気づかいルーシー」（バリアフリー字幕検討）／無料 14:00～：こまつ座「母と暮らせば」／無料	9/20（土）仕込・21（日）上映 小ホール
4	都城市総合文化ホール	5/23（金）	13:00～：PARCO PRODUCE 2024「リア王」／有料1,000円 18:00～：ホリプロ「ムサシ」（バリアフリー字幕検討）／無料	10/24（金）仕込・25（土）上映 中ホール ※検証の状況により大ホール
5	三重県文化会館	5/8（木）	13:00～：PARCO PRODUCE 2024「リア王」／有料1,000円 17:00～：ヨーロッパ企画「来てけつかるべき新世界」／有料1,000円	10/31（金）仕込・11/1（土）上映 中ホール
6	高知県立県民文化ホール	5/16（金）	13:30～：PARCO PRODUCE 2024「リア王」／有料1,000円 17:45～：ホリプロ「ムサシ」／無料	10/31(金)18:00～22：00仕込 11/1(土)午前仕込・リハ、午後上映 グリーンホール
7	福岡県立ももち文化センター	5/21（水）	13:00～（11:00検討中）：東京芸術劇場「気づかいルーシー」（バリアフリー対応希望）／無料 17:00～：椿組「椿組2024年夏・花園神社野外劇「かなかぬち～ちちのみの父はいまさず～」／有料500円	11/28(金)仕込・29(土)上映 大ホール
8	神戸文化ホール		14:00～：ホリプロ「ムサシ」（バリアフリー字幕あり）／無料 18:00～：イキウメ「奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話」／無料	11/28（金）仕込・29(土)上映 中ホール
9	みなとテラス （境港市民交流センター）	5/19（月）	14:00～：イキウメ「奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話」／有料：未定	12/19(金)仕込・20(土)上映 市民ホール
10	エルデホール	5/10（土）	10:30～／14:30～：PARCO PRODUCE 2024「リア王」／有料1,000円	11/15（土）仕込・16（日）上映 メインホール

※2025年1月19日現在の情報につき事情により変更の可能性があります。

■2024年度の公文協／EPADの活動報告は下記URLからご覧ください。（13ページから17ページまで）

https://drive.google.com/file/d/1y_fr0rU0XbKbHuVefjaJ7iOg07KLOY3U/view